

学校現場で活躍する先輩たちの声

採用後、数年を経験した先輩たちからの思いを込めたメッセージです。



小学校教諭

志を同じくする仲間と
過ごす時間は
とても楽しい



横須賀市立
高坂小学校
佐藤 梨奈
教諭

「先生に出会えてよかった。」

そんな経験はありますか？私は神奈川県で生まれ、多くの人と出会い人生が大きく変わりました。中でも当時の先生方からの教えが忘れられません。私も子どもたちの可能性を大きく広げたいという思いから小学校教諭を目指しました。

小学校教諭の魅力は、1日を通して児童の活動を見ることができるところですが、幅広い知識や指導力が必要となります。校内では、先輩の授業を参観したり、よりよい発問を考えるための論議をしたり、志を同じくする仲間と過ごす時間はとても楽しいです。児童が「知りたい」「伝えたい」と意欲的に活動している時は、うれしい瞬間であり、やりがいを感じます。毎年3月には、このクラスに出会えてよかったと胸がいっぱいになります。

この神奈川の地で児童の可能性と一緒に広がっていきましょう。

中学校教諭

教員は“未来をつくる人を育てる”職業

南足柄市立
足柄台中学校
大場 勇太
教諭



「Student First！」を胸に、日々の教育活動に力を尽くしています。あらゆる場面において、今何をすべきなのかを生徒自身に考えさせることが大切だと考えます。今まで自ら考え、行動できなかった生徒が、自らの判断で、行動している姿を見ると、私も負けてはいられないという気持ちになります。

生徒とともに本気で喜び、笑い、泣き、生徒の懸命な姿に感動できる職業は他にはないでしょう。教員は“未来をつくる人を育てる”職業です。中学生は周りの環境に影響されながらも大きく成長します。そうした大事な時期に関わることには責任もありますが、その責任を果たし、生徒の成長に近くで携われることは非常に魅力的です。私自身も成長させてもらったと思います。

私は他県出身で、赴任したての頃は不安なことばかりでしたが、周りの先生方や保護者の方、地域の方々からの温かいサポートのおかげで自信をもって過ごすことができました。また、神奈川県は教員の資質向上のために、自ら選択して受講できる研修が多く、スキルアップを図ることができます。ぜひ、一緒に神奈川県で働きましょう。

高等学校教諭

人との様々な関わりこそが 教員の魅力



人との様々な関わりこそが教員の魅力であると考えます。高校生は、進学や就職など将来についての大きな選択をする時期にあります。日々悩み考え、変化していく生徒たちを理解しようと向き合い関わり続けることが信頼関係につながり支えになります。3年間で大きく成長していく生徒と間近に関われることが教員という仕事のやりがいではないでしょうか。

また、教員間での関わりも重要です。私は、初任校が特別支援学校で、チームで協力し合うことの大切さを学びました。今ではその経験を活かし、チーム作りで努力をしています。様々なことを教員間で一緒に悩み考え、そして共に喜び合える環境こそが働く活力につながると実感しています。現在、神奈川の県立高校では、さまざまな特色ある学校づくりを推進しています。様々な経験を積んだ先生方と共に仕事をする事で自身をより成長させることができます。

皆さんも神奈川の教員として一緒に成長していきませんか。

特別支援学校教諭

自分らしく生き生きと生活できる 未来へつなげる支援を



神奈川県では、障がいの有無にかかわらず、様々な課題がある子どもたち一人ひとりのニーズに適切に対応していく「支援教育」に取り組んでいます。私が働く特別支援学校はこの支援教育の一環で、子どもたちそれぞれの発達段階に応じた効果的な指導を日々心がけています。

私は、興味関心は意欲に、意欲は達成感につながると考え、子どもたちの「やってみよう！」を引き出し、たくさんの「できた！」を実感できるように指導にあたっています。うまく支援できないこともあります。大きな不安はありません。特別支援学校では、チームティーチングによる指導が多く行われ、複数の教員により多様な視点で子どもたちを捉えて協力し合える体制ができています。その中で自身の視野も広がり、学んだ知識を自分なりに組み合わせながら実践する毎日に充実感を感じています。

今後も、子どもたちが1年後も10年後も自分らしく生き生きと生活できる未来へつなげる支援を目指し、努力を重ねていきたいと思えます。

養護教諭

来たときよりも 元気に教室へ戻れる 保健室を目指して



「保健室ってほっとする～」と呟く子どもたち。普段はクラスや部活動で一生懸命な姿を見せる子どもたちですが、時には羽を休めにくるときもあります。保健室は、ほっとひと息ついてエネルギーを充電できる場所でありたいと思い、日々子どもたちと接しています。子どもたちにはあらゆる側面があるため、職員や保護者、外部機関などとの日々の情報共有は欠かせません。連携がとれて初めて子どもを多面的にみることができ、子どもの本質をつかむことができます。子どもたちが保健室だけでなく、たくさんの人たちとの関わりの中で成長していける環境を大切にしたいと思っています。

神奈川県には支援教育などの研修も充実しており、学べる機会が多くあります。また、困ったときに支えてくださる周りの先生方がいることは最大の魅力です。「元気で！」と笑顔を浮かべて教室へ戻っていく子どもたちを一人でも多く送りだせるように、これからも子どもの心の声に常に寄り添い、共に成長していけるよう努力していきます。